「大寶館と桜（鶴岡公園）」

庄内総合支庁NEWS

平成３０年４月号　（偶数月に発行します）

食の都庄内

就任のあいさつ

庄内総合支庁長　沼澤　好徳

庄内総合支庁長の就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私自身、平成27年度以来二度目の庄内勤務となります。着任後、地域の方々とお話をするなかで、また、「日本遺産」を始め「食の都庄内」の取組みを通して磨きをかけてきた「美食」「美酒」などの観光資源が国内外から訪れる多くの皆さんを魅了していることや、港湾機能の整備強化、バイオテクノロジー等先端産業のさらなる集積などを目の当たりにし、庄内の「地域力」が一段と高まりつつあることを実感しております。

先般、産業技術短期大学校庄内校の入学式で入学生代表の誓いの言葉をお聞きする機会がありました。曰く「子供の頃からの夢は庄内で仕事をすること」「産短大で技術を学び庄内で仕事に就き、将来は世界に向けて先端技術を発信したい」。力強く熱い想いが伝わってきて、県内の他地域に比べ高校卒業時の地元定着率が低いここ庄内で、地元に残って力を発揮したいという若者を一人でも増やしていくことが、私たち庄内総合支庁の使命だという思いを強くしたところです。

庄内総合支庁では観光・農林水産業・商工業などの産業振興、道路・河川等の公共インフラの整備維持、健康・福祉に関することなど、地域の身近な課題に対応しておりますが、こうした業務を担当する職員一人ひとりがどのようにしたら「若者定着」につながるのかを常に意識し、「若者定着・人口減少対策」が最重要課題であるという認識を全員で共有しながら、各種施策に取り組んでまいりたいと考えております。

管内の市町、関係団体、地域住民の皆さまと力を合わせ、全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

国道47号　余目酒田道路　全線開通！

3月18日16時、地域高規格道路『余目酒田道路』が全線開通しました。

当日は、庄内町役場西庁舎にて吉村知事をはじめ地元首長、国会議員、県議、市議、町議の皆さまの他、用地提供者の方々、施工業者の方々など大勢が出席する中、開通式典が執り行われました。

式典は「あまるめ飛龍太鼓」の皆さんによるオープニングアトラクションで幕を開け、吉村知事から「新庄酒田道路の全線開通に向けて前進していることを大いに実感しています」との挨拶の後、来賓の方々のご挨拶、庄内町観光協会阿部会長の『私の「みち」への想い』と題した意見発表と続きました。

また、会場を余目酒田道路の起点となる余目東交差点付近に移し、テープカットとくす玉開きが行われ、式典参加者による走り初めパレードで締め括られました。

余目酒田道路の開通では、庄内と最上地域とのアクセスが向上するだけでなく、秋田県や宮城県・新潟県等、近県との経済活動や観光等、様々な分野における広域連携の拡大が期待されます。

新庄酒田道路としては未整備区間も残っていますので、早期の全線開通に向けて皆さん一緒に取り組んでまいりましょう。

（道路計画課 都市整備・企画担当）
TEL0235-66-2120

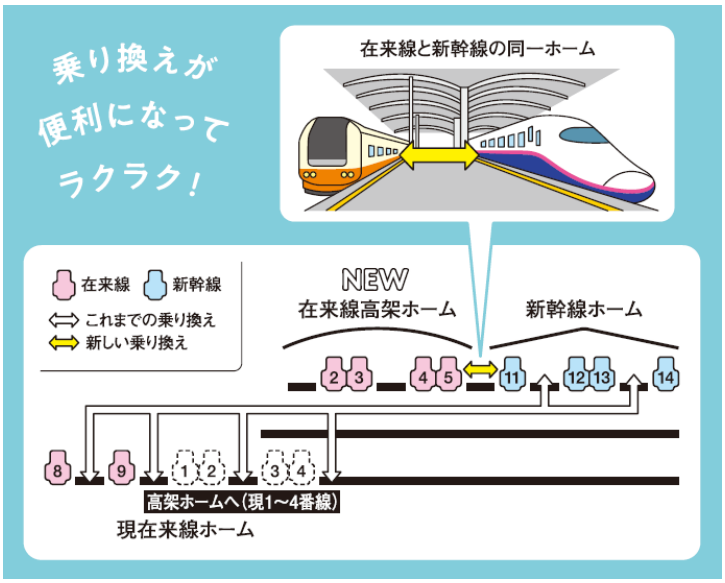
新潟駅同一ホーム乗り換えが4月15日からスタートしました！

4月15日（日）から、新潟駅の在来線の高架化により、羽越本線特急「いなほ」と上越新幹線「とき」が同じホームで乗り換えができるようになりました。

これまでは、階段やエスカレーターを使って乗り換えていましたが、新しいホームに設置される2箇所の改札を通って乗り換えができ、格段に利便性が向上します。

「いなほ」が走る庄内地域には、「出羽三山」、「北前船寄港地・船主集落　酒田」、「サムライゆかりのシルクのまち　鶴岡」の3つの日本遺産があります。また、今年10月から12月には「新潟県・庄内エリア」プレデスティネーションキャンペーンが予定されるなど、庄内地域は県内外から注目を集めています。県と関係団体が連携し、これらについて、首都圏などでPRを行い、さらなる観光誘客につなげていきます。皆さん、ぜひ乗り換えが楽になった「いなほ」の旅をお楽しみください。

（総務課 連携支援室）TEL0235-66-5440



管内高等学校長と庄内総合支庁長との意見交換会

庄内総合支庁長と就職希望者の多い管内高等学校5校（鶴岡工業、鶴岡中央、庄内総合、酒田光陵、羽黒）の校長先生との意見交換会が、2月7日に庄内総合支庁で開催されました。

この意見交換会は、当庁の最重要課題である若者の地元定着について、各校長先生から率直なご意見をいただき、また、若者の流出が原因でおこる地域存亡の危機に対する意識を共有してもらうことを目的に、今年度初めて開催したものです。

検討会では、各学校の生徒の進路についての意識傾向や若者地元定着にむけた取組みなどについて情報提供をしていただきました。

校長先生方からは、「『庄内存亡危機』という言葉を聞いて驚いた」との声や、「関係機関がより連携して施策を進めてほしい」との指摘等、今後の取組みに大いに参考となるご意見を多数いただきました。

支庁長からは、「生徒にとどまってもらうには、我々大人が、庄内の良さを生徒に伝え続けていくことが大切」との意見があり、また「来年度に『庄内存亡危機対策会議』を立ち上げるので、校長先生から御示唆をいただきたい」とお願いをし、大変有意義な意見交換会となりました。

（地域産業経済課　産業振興担当）
TEL0235-66-5487

「平成30年度　庄内総合支庁の主な取組み」を紹介します

若者の県内定着促進

「庄内存亡危機対策会議（仮称）」の設立

産業界、教育機関、行政等の関係者が危機意識を共有し、進学、就職の両面から、地域一丸となって若者の県内定着・回帰に向けた対応策を検討します。なお、これは、本庁が設立する「オールやまがた人材確保・生産性向上推進協議会（仮称）」の地域部会として実施します。

（地域産業経済課）

人手不足対策推進事業

大学卒業後に地元就職が選択肢の一つとなるように、大学等進学予定の高校生や教員を対象に、管内の企業情報の提供や、起業に関するセミナー等の開催を支援するとともに、地域の産業・就業環境の魅力をPRする動画を作成し、セミナーで活用します。

（地域産業経済課）

庄内若者定着促進事業

県内私立専修学校等の学生に対し、帰省（庄内から県内の庄内以外の地域への帰省及び、庄内以外の地域から庄内への帰省）に要した交通費の一部を補助します。

また、東北公益文科大学連携プロジェクト事業においては、公益大生と高校生による「庄内への若者定着」等をテーマとしたワークショップを開催します。

（総務課）

観光の振興

庄内総合支庁では、庄内観光コンベンション協会と連携して、日本遺産等を活用した誘客の取組みや、外航クルーズ船寄港時の受入態勢の充実を図っていきます。また、平成30年10月から12月まで実施される、新潟県と庄内エリアを対象としたプレデスティネーションキャンペーン（DC）、東北観光復興対策交付金を活用したインバウンドの拡大に向けた事業にも取り組みます。

今年度、初寄港予定の「ダイヤモンド・プリンセス号」

出羽庄内四季のテーマ観光推進事業

・Webによる戦略的な情報発信等
・日本遺産等新たな観光資源を活用した誘客の促進
・外航クルーズ船寄港時の受入態勢の充実

新潟・庄内DC誘客推進事業

・平成30年実施の新潟県・庄内エリアDCのプレDC開催に向けた取組みの推進

DCキャッチフレーズ 日本海「美食旅」

庄内エリアサブキャッチフレーズ 庄内 食の都 おいしい 食の都庄内

インバウンド対策事業（東北観光復興対策交付金事業）

・羽田－山形2空港インバウンド誘客プロモーション事業
・首都圏を発着とした外国人向けバスツアー造成事業
・スポーツツーリズム戦略的誘客促進事業

（地域産業経済課　観光振興室）

飛島振興重点プロジェクトの展開

本県唯一の離島「飛島」は、「日本の渚百選」に選ばれた荒崎の絶景、スルメイカなどの豊富な魚介類、更には固有種であるトビシマカンゾウが自生し、様々な野鳥が飛来するなど、個性的で魅力的な地域資源の宝庫です。また、飛島に移住し、いきいきと働き暮らす若者たちも増えてきております。

この魅力あふれる飛島の更なる振興に向けて、県、酒田市、とびしま未来協議会などの産・学・官・民の連携のもとに

■観光交流
■産業振興
■安全・安心、生活環境の充実
■移住定住促進

の4つの分野からなる「飛島振興重点プロジェクト」を、平成30年度から平成32年度にかけて集中的に展開し、交流人口の拡大などを図っていきます。

皆さん、ぜひ飛島を訪れて、たくさんの魅力を体験してください。

（総務課　連携支援室）

食の都庄内ブランド等の確立

庄内浜トップブランド水産物創出事業

庄内浜の魅力ある水産物のブランド化を効果的に進めていくため、関係者が一体となって庄内浜ブランド創出協議会を昨年立ち上げました。今年度も多くのお客様に庄内に来ていただけるよう、食の都庄内や観光振興室と連携してプレDC等の機会を活かし、庄内おばこサワラや庄内産とらふぐのキャンペーンを展開します。また、お客様に満足していただけるよう、飲食店を対象に調理講習会を開催するなど、技術的な支援も行っていきます。

（水産振興課）

広域交通ネットワークの整備促進

庄内発！
格子状ネットワーク全線開通促進活動事業

東日本大震災では、被災地と他地域を繋ぐ高速道路ネットワークの重要性が強く認識されました。現在、日沿道は全線事業化されましたが開通時期が示されていません。また、新庄酒田道路は余目酒田道路が全線供用されましたが未事業化区間の早期事業化が望まれています。このため、隣県や沿線市町村等と連携して整備促進をうったえるパンフレット等を作成し、高速道路や地域高規格道路の整備促進を国へより強く要望していきます。

（道路計画課）

農林水産業分野で活躍する若者を表彰

「庄内地域農林水産業若者賞」の授賞式が3月22日に行われ、庄内総合支庁長から賞状と記念品が贈られました。この賞は、農林水産業の振興発展と人材育成に資するため、平成24年度から地域で活躍する若手リーダーを表彰しています。

地域の元気の源となっている皆さんのますますのご活躍を期待いたします。

受賞された皆さん
伊藤大悟さん
（鶴岡市、温海町森林組合林業作業士）
粕渕朋美さん
（鶴岡市、観光ぶどう園運営）
那須俊祐さん
（遊佐町、和牛の繁殖肥育一貫経営）

（地域産業経済課
６次産業推進・調整担当）TEL0235-66-5725

「庄内札所三十三霊場(庄内三十三観音)」８年ぶりに御開帳

庄内三十三観音札所会では、5月1日（火）から10月31日（水）の6か月間、御開帳を行います。御開帳期間は、御朱印授与の記念として各霊場から特別に彩色の御影（おみえ）をいただけるほか、35霊場全て巡礼された方には、庄内札所結願印（けちがんのいん）がいただけます。（御影、結願印は無料）

やまがた庄内観光サイトに庄内札所三十三霊場の特集ページを開設しましたのでご覧になってください。

http://www.mokkedano.net/course/feature/23

左：御影（おみえ）
右：結願印（けちがんいん）

（地域産業経済課　観光振興室）TEL0235-66-5492

サクラマスを食べよう！キャンペーン実施中

山形県の魚であるサクラマスは、庄内に春を告げる魚として、古くから春のお祭りに欠かせない食材として親しまれてきました。このサクラマスを多くの方々に楽しんでいただけるよう、4月1日（日）から5月27日（日）まで鶴岡市内、酒田市内の寿司店合計11店舗でサクラマス料理を提供いたします。ご利用には予約が必要ですが、チラシ等をお持ちの方には地魚寿司1貫をサービスいたします。

この機会にぜひ庄内の春の味覚「サクラマス」をご賞味ください！

※サクラマスを食べよう！キャンペーンについて
http://www.mokkedano.net/information/show/364

写真提供:
庄内浜文化伝道師協会

（地域産業経済課
観光振興室）
TEL0235-66-5492

自動車をお持ちの皆さまへ
～納期内納税で豊かなで住みよい山形県～

自動車税の納期限は 5月31日です。

自動車税は私達の暮らしを豊かにする大切な税金です。納期限までにお近くの金融機関やコンビニエンスストアで忘れずに納めて、住みよい地域を作りましょう。

なお、インターネットを利用してクレジットカードでも納めることができます。

また、「納税通知書が届かない」、「手放した車の納税通知書が届いた」、「障がい者減免を受けたい」など、自動車税についてのお問い合わせは、お早めに下記担当までご連絡ください。

（税務課　課税第一担当）
TEL0235-66-2116

不法投棄及び海岸漂着物削減強化月間
～きれいな庄内地域を守ろう～

雪が消え、新緑が芽生える中に、“ごみ”が目につきませんか？心無い不法投棄の防止と早期発見に努め、ごみのない山形県を実現するため、5月を「不法投棄及び海岸漂着物削減強化月間」とし、パトロールや監視カメラ設置など、広く不法投棄防止の啓発活動を行います。

また、冬の季節風により庄内海岸には、多くのごみが漂着しています。漂着ごみの原因となる私たちの周りの散乱ごみを減らし、きれいな庄内海岸を一緒に守りましょう。今年で第18回を迎える飛島クリーンアップ作戦は5月26日（土）に実施されます。

（環境課 廃棄物･海岸漂着物対策担当）　TEL0235-66-4914

庄内総合支庁 Facebook 見てね！

発行元：山形県庄内総合支庁総務企画部総務課
〒997－1392山形県東田川郡三川町大字横山字袖東19－1
総合案内窓口 電話0235(66)5598 FAX 0235(66)2835
支庁ニュースHP